

聖 霊

第7回 信者の霊的成長のための聖霊の働き①

□アウトライン

1. 信者の霊的成長のための聖霊の働き
2. 満たし
 - (1) 聖霊の満たしとは
 - (2) 聖霊の満たしについての4つのポイント
 - (3) 聖霊の満たしを受けるための4つの条件
 - (4) 聖霊の満たしを受けると信者はどうなるか

-
1. 信者の霊的成長のための聖霊の働き・・・7つ

満たし・教え・導き・保証・祈りととりなし・聖霊による証言・聖霊の交わり

2. 満たし

- (1) 聖霊の満たしとは・・・

エペソ 5:18 また、ぶどう酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。むしろ、御霊に満たされなさい。

- ぶどう酒に酔ってはいけません・・・聖霊の満たしは、ぶどう酒に酔うことと対比されている。酒に酔うと、そこには放蕩がある。逆に、御霊に満たされると、放蕩には向かわない。結果は真逆であるが、酒に酔うのと、御霊に満たされることには、共通点がある。酒に酔うというのは、酒に支配される状態。同様に、**御霊に満たされとは、御霊によって支配される状態**である。
- 満たされなさい・・・ギリシア語原文の文法では、現在形の受動態の命令文である。命令形であるから、信者は聖霊の満たしを受けるように命じられている。また、現在形なので、1回限りで完結するのではなく、何度でも満たしを受けるよう命じられている。

聖霊の満たしとは、聖霊によって信者の内側が支配されること

(2) 聖霊の満たしについての4つのポイント

「御霊に満たされなさい」(エペソ5:18)は、現在形の受動態の命令文



- ① **命令文・・・神の命令**である。信者は、聖霊の満たしを受けよと命じられている
- ② **現在形・・・1回限りではなく、何度でも**
【一度満たされたら、それで終わり】ではない。人間の内側は、いろいろな領域を持っている。信じたときに内側のすべての領域が聖霊に支配されている信者は、いない。信者は、自分の内側の領域を一つひとつ（たとえばお金に関する領域など）、聖霊に委ねていく。満たしを受けるのは、1回限りではなく、何度でも、である。では、同じ領域で満たしを繰り返すのかというと、そうではない。次のポイント③へ。
- ③ **聖霊に委ねる領域を広げていく**：ある領域で一度、聖霊の支配に委ねて、その領域での満たしを受けたとしても、しばらくすると、聖霊の満たしを失ったかのように感じることもある。しかし、いったん受けた満たしは失われない。聖霊がいったん支配した領域は、聖霊の支配権の下にある。では、信者が聖霊の満たしを失ったかのように感じるのはなぜか。
それは、自分の内側の別の領域について、聖霊の支配を受ける必要があると、聖霊が教えてくださっているのである。信者は、気づかされたその別の領域を、内住の聖霊に委ねればよい。このようにして、自分の内側において、聖霊に委ねる領域を広げていくことになる。
- ④ **受動態・・・信者が自分ですることではなく、聖霊に委ねるだけ**。満たしは、信者が自分ですることではない。聖霊の働きである。信者がすることは、自分の内側の領域を一つひとつ、聖霊の支配に委ねていくことである。

(3) 聖霊の満たしを受けるための4つの条件

① 自分の人生を神に捧げる

ロマ 12:1~2 ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。

② 責められる点がないように生活する

エペソ 4:30 神の聖霊を悲しませてはなりません。あなたがたは、贖いの日のために、聖霊によって証印を押されているのです。

- 贖いの日・・・からだの復活の日。教会の信者にとっては、教会の携挙の日

具体的には・・・

ロマ 13:11~14 さらにあなたがたは、今がどのような時であるか知っています。あなたがたが眠りからさめるべき時刻が、もう来ているのです。私たちが信じたときよりも、今は救いをもっと私たちに近づいているのですから。夜は深まり、昼は近づいて来ました。ですから私たちは、闇のわざを脱ぎ捨て、光の武具を身に着けようではありませんか。遊興や泥酔、淫乱や好色、争いやねたみの生活ではなく、昼らしい、品位のある生き方をしようではありませんか。主イエス・キリストを着なさい。欲望を満たそうと、肉に心を用いてはいけません。

- 欲望を満たそうと、肉に心を用いてはいけません・・・直訳「肉の情欲のために（刺激するような道具など）必需品を準備してはなりません」

- ③ 罪の性質（肉）にではなく、新しい性質（霊）と内住の聖霊に従って歩む

ロマ 8:4 それは、肉に従わず御霊（霊）に従って歩む私たちのうちに、律法の要求が満たされるためなのです。

ガラ 5:16 私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満たすことは決してありません。

- ④ メシアの律法に従順、神の命令を守る。失敗して罪を犯したときは、罪を言い表す祈りをして、神にきよめていただく。

ヨハ 14:15 もしわたしを愛しているなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。

Iヨハネ 1:9 もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。

(4) 聖霊の満たしを受けると信者はどうなるか

① 主を礼拝し、賛美する

エペソ 5 : 19～20 詩と賛美と霊の歌をもって互いに語り合い、主に向かって心から賛美し、歌いなさい。

- 互いに・・・別訳「あなたがた自身に」
- 心から・・・直訳「あなたがたの心の中で」

② 互いに仕え合う

エペソ 5 : 21 キリストを恐れて、互いに従い合いなさい。

③ 霊的に強くなる

エペソ 3 : 16 どうか御父が、その栄光の豊かさにしたがって、内なる人に働く御霊により、力をもってあなたがたを強めてくださいますように。

④ 希望にあふれる

ロマ 15 : 13 どうか、希望の神が、信仰によるすべての喜びと平安であなたがたを満たし、聖霊の力によって希望にあふれさせてくださいますように。

⑤ キリストについて大胆に証言する

使徒 4 : 8～13 そのとき、ペテロは聖霊に満たされて、彼らに言った。「民の指導者たち、ならびに長老の方々。私たちが今日取り調べを受けているのが、一人の病人に対する良いわざと、その人が何によって癒されたのかということのためなら、皆さんも、またイスラエルのすべての民も、知っていただきたい。この人が治ってあなたがたの前に立っているのは、あなたがたが十字架につけ、神が死者の中からよみがえらせたナザレ人イエス・キリストの名によることです。『あなたがた家を建てる者たちに捨てられた石、それが

要の石となった』というのは、この方のことです。この方以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人間に与えられていないからです。」彼らは、ペテロとヨハネの大胆さを見、また二人が無学な普通の人であることを知って驚いた。また、二人がイエスとともにいたのだということも分かってきた。

⑥ 神との交わり、兄弟姉妹との交わり

ピリピ 2:1~2 ですから、キリストにあって励ましがあ、愛の慰めがあり、御霊の交わりがあり、愛情とあわれみがあるなら、あなたがたは同じ思いとなり、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、思いを一つにして、私の喜びを満たしてください。

- 御霊の交わり・・・聖霊の働きのひとつ。信者を父なる神との交わりに導く。信者が神との交わりがあるなら、信者は次に兄弟姉妹との交わりに進む

⑦ 御霊の実を結ぶ

ガラ 5:22~23 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。このようなものに反対する律法はありません。